

# 区分：人文・社会科学

授業科目名	日本国憲法（憲法と私たちの暮らし）					学期	曜日	校時
英語名	The Constitution in Japan ( Constitution and Our Lives )							
担当 教官名	奥真美	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	火曜日	校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>憲法とは何かを理解し日本国憲法の全体像を把握したうえで、日常生活との関連性が深く社会的関心の高い具体的なテーマをとおして憲法の主要な争点について学ぶ。本授業の最終的なねらいは、憲法と社会問題や日常の事象（たとえば、環境問題や環境行政・政策における住民参加と地方公共団体との役割など）とを結び付けて考えられるようになってもらうことにある。</p> <p>まず、現代憲法の役割と根底に流れる普遍的な理念、わが国憲法の歴史的な変遷、日本国憲法の基本原理について簡潔に講義する。そのうえで、さらに現行憲法の理解を深めるために、個別具体的なテーマを取り上げて、日本国憲法の主要な争点のいくつかについて解説する。</p>								
テキスト、教材等								
<p>テキストは特に指定しないが、芦部信喜『憲法 新版』岩波書店(2,884 円)、伊藤真『伊藤真の憲法入門』日本評論社（1,700 円）などが講義の内容を理解するうえで参考になる。このほか、必要に応じて、判例、新聞記事、雑誌、統計等の各種資料を配布する。</p>								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
全学部	定期試験（論述）講義後に随時提出してもらう意見・感想等を総合的に勘案して成績評価を行う。							
授業計画								
<ol style="list-style-type: none"> <li>1.憲法とは何か 憲法の役割</li> <li>2.日本国憲法の歴史的変遷</li> <li>3.憲法の基本原理（国民主権、平和主義、基本的人権）</li> <li>4.基本的人権の原理と体系</li> <li>5.基本的人権の限界</li> <li>6.国民主権と天皇制</li> <li>7.戦争放棄と自衛権</li> <li>8.地方自治の本旨と制度</li> <li>9.条例制定権とその限界</li> <li>10.プライバシーと自己決定権</li> <li>11.アクセス権と情報公開制度</li> <li>12.環境権の提唱と発展</li> <li>13.環境権をめぐる判例等の動向</li> <li>14.予備日</li> <li>15.定期試験（論述）</li> </ol>								